

ホホバ
頒布会便り



発行
毎月一回
株式会社アイリス

外から帰り、エアコンの効いた室内に入ると、スーッと汗が引いて気持ちの良いものですが、気付かぬ内にお肌は乾燥しています。シミ等のトラブル原因にもなる、夏の「隠れ乾燥肌」を正しいお手入れで防ぎましょう。

夏の隠れ乾燥、お肌はベタついてても・・・

暑くなつて来ると、汗や皮脂で肌はベタついてくるので、乾燥が気にならず、夏の紫外線対策には気をつけていても、保湿のお手入れは忘れがちに。

しかし、実は汗の塩分や冷房で肌の水分はすぐに乾いてしまい、脂分だけが残ってしまうので、ベタつい



ているのに乾いている、隠れ乾燥が進んでしまうのです。

原因は様々 それぞれにご注意を

隠れ乾燥の原因は、紫外線・汗・冷房・洗い過ぎなど様々あります。

強い日差しと紫外線の影響で、肌の細胞が不完全なまま作られてしまい、水分保持力の弱い肌となってしまうますし、汗をかくと、肌に残った塩分が余計に肌の水分を奪ってし

まい、汗を拭き取る時も、肌に刺激となり、シミの原因にも。また、冷房の風は肌表面の水分を奪い、肌の表面温度が下がって血行が悪くなるのでシワやたるみの原因にも。

他にも、お風呂で洗い過ぎ・こすり過ぎで肌表面のバリアー機能が低下して様々な肌トラブルに。

夏の保湿で美白効果もアップ

夏の乾燥肌を放置してしまうと、お肌がグンと老けてしまいます。

たっぷり水分補給をして、夏でもホホバを薄く伸ばして保湿のお手入れをする事も忘れずに。

乾燥したお肌は、水分を含んだ健康な素肌比べ、紫外線の影響をより強く受けてしまいますから、美白のためもしっかり保湿を。

隠れ乾燥を防いで、 瑞々しい素肌を取り戻す！

夏の隠れ乾燥は、気付かない内に進行して、シワ・肌荒れや吹き出物、シミやたるみ、くすみ等、様々な肌トラブルに繋がります。

肌の状態を正しく知り、夏の暑さに負けない、水分を含んだ健康な素肌を取り戻しましょう。

あなたのお肌、乾いていませんか？ 隠れ乾燥度チェック！

- ・冷え性だ
 - ・お風呂は熱めのお湯が好きだ
 - ・化粧のノリが悪い
 - ・体を洗う時、しっかりこすらないと洗った気がしない
 - ・肌が硬くザラついた感じがする
- ・汗や皮脂ですぐに顔がテカテカする
 - ・日中クーラーの効いた室内に
いる事が多い

◆当てはまるものをチェックして下さい。

◆チェックの数が

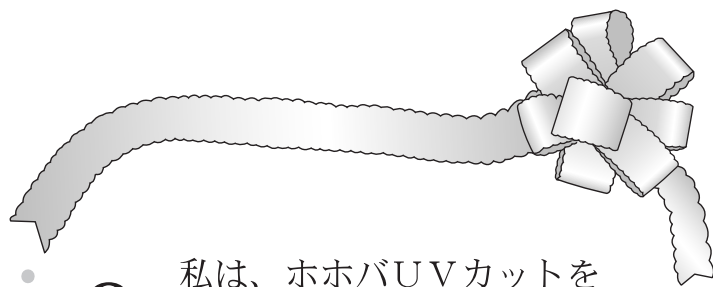
- 0～1個・・・ その調子♪そのまま良い状態をキープして。
- 2～3個・・・ 黄色信号。気付かぬ内に乾燥が進んでいます。
- 4～5個・・・ 要注意。乾燥→肌荒れ→更に乾燥の悪循環が！
- 6～7個・・・ 緊急事態！乾燥から様々な肌トラブルが！

いかがでしたか？
 チェックの数の多い方は、
 今までのお手入れをもう一
 度見直しましょう。
 お肌の水分量をキープす
 る事は様々な肌トラブルの
 改善に繋がります。
 弾力のないザラつくくす
 み肌も、毎日のお手入れで
 徐々にお肌の奥にまで水分
 が行き渡れば、ふつくと
 弾力のある、柔らかな素肌
 に生まれ変わります。



◆洗顔後、化粧水だけでは×

洗顔後、化粧水だけで済ませてしまつと、乱れた角質層の間からどんどん水分が奪われ、それを防ぐ為にお肌は必要以上に皮脂を分泌します。その結果、肌表面はベタついているのにザラついた乾燥肌となりますから、ベタつく時こそ、洗顔後はホホ



Q 私は、ホホバUVカットを愛用しています。【SPF25】のホホバUVカットの上から、やはり【SPF25】のファンデーションを使った場合は【SPF50】と考えると良いのでしょうか？

A ご愛用ありがとうございます。ご質問のSPFについてですが、まず、SPFとは、日差しの強さに対する値ではなく、あくまで紫外線を浴びる時間に対する値です。

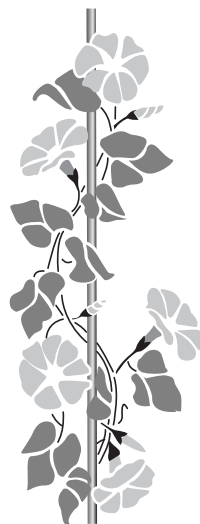
ですからSPFの数字をそのまま足し算する事はあまり意味はありません。

例えば、25分のタイマーを2つ同時にスタートさせても50分は計れないのと同じ事です。

とはいえ、単純な足し算にはなりません、塗り残しやムラをカバーする意味では、併用する事で予防効果は高まると考えられます。

ただ、逆に熱過ぎるお湯だとお肌の油分を奪ってしまいますから、ぬるめのお湯にゆつくりと。体を洗う時もゴシゴシ洗いは厳禁。泡で優しくなでる位で充分です。暑いこの時季に隠れ乾燥を解消し、潤った良い状態にコンディションを整えて、空気の乾燥する秋・冬に備えましょう。

バで保湿ベールを作る事が大切です。



◆日中は化粧の上からもアロエローションを

日中、エアコンの効いた室内では、

日に何度でも、プッシュ容器に入れたアロエローションをプッシュして乾燥予防をしましょう。

◆お風呂はぬるめでゆっくり

夏のお風呂は、暑いからとついシャワーでサツと済ませがちですが、しっかりと湯船に浸かって冷房の夏冷えを解消しましょう。